

# U

東北大震災復興応援号

United Tomorrow

ユナイテッド・トゥモロー Vol.3



誰も  
誰か  
のために。

地球の平和を守るために戦うべき相手は、怪獣ではなく、天災や環境汚染、エネルギー問題のようです。

東日本大震災を経験した今、日本中がチカラをひとつに、できることを、できる範囲で支えあいましょう。

# 知られざる活動に光を。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。安否が分からない方々がどうかご無事でありますよう、被災された皆様が早く安心できるよう、多くの皆様からの支援により、一刻も早く被災地の皆様が日常を取り戻せるよう、心よりお祈り申し上げます。そしてこれを機に、ボランティアが災害時だけでなく日常に根付くことを願っています。



オルウィン  
株式会社  
豊田 匡臣

〒550-0005 大阪市西区西本町1-2-19  
西本町セントラルビル 4F  
TEL:06-6536-0117  
E-mail: pearl.7650@friend.ocn.ne.jp

オルウィン <http://www.allw.in>

なまずん <http://www.namazun.com/>

## どこに置いたかわからない！ 押し入れの奥？

そんなことはありませんか？持ってはいてもどこに置いたかわからない非常袋。押し入れの奥にあるはず…。イザというときにそれでは意味がない。そんな思いから「お見舞金付防災ぬいぐるみ なまずん」が生まれました。ぬいぐるみの中には防災ずきんや懐中電灯、携帯電話充電器、モバイルトイレ、アルミシート、スリッパが入っています。いつも暮らしの中心に置いておくことが大切。阪神大震災から16年。すこし忘れていた天災の恐ろしさをこのたびの東日本大震災であらためて肌で感じ、防災準備の必要性を感じました。『ビジネスの世界でWIN×WINとよく言われますが、オールWIN、みんなが笑える世の中にしたいんです』と社名の意味を話す豊田さん。社会に役立つ販促企画を実践されています。 ※なまずんの売上の一部はこの度の震災の復興支援に充てられています。



NPO法人  
ツイッターミーティング大阪  
川辺 友之

<http://twiosaka.ning.com/>

## リスクを冒さない。 何もやらない。 それじゃダメなんです。

デフレ、シャッター通り、後継者問題…。いま中小企業を取り巻く状況にはとても厳しいものがあります。大阪・青山でノービアノービオというフォーマル専門店を経営し、映画『のためカンタービレ』『アマルフィ』にタキシードを提供しています。川辺さんは今の中小企業の状況を打破したいと熱く語ってくれます。リスクを冒さない。何もやらないほうがまだまし。そんな気分が蔓延する中、中小企業の仲間にツイッターの活用を積極的に推進しています。「インターネットはお金がありませんから中小企業にはうれしいツールです。子供や孫のために頑張りましたよ」と呼びかけます。自身が3代目で経営危機に陥ったどん底から這い上がった経験を持ち、なんとかか関西を元気にしたいとNPO法人ツイ大阪に参加しビジネスセミナーやフェイスブックなどの講習会、東日本大震災の被災者に元気を送るチャリティパーティーなど積極的な活動をされています。



くつろぎステーション  
つばさ  
西村 崇

〒530-0035 大阪市北区同心1-5-27  
(社福)大阪ボランティア協会・北区事務所気付  
E-mail: tsubasa\_piyopiyo@hotmail.com

kutsurogitsubasa.web.fc2.com/

## たこやきみたいな 心安らげる場所が必要。

「何をやりたい?」「きみの夢は?」「もっとやる気を出して」って言われても自分にとってなにが問題なのかわからない。自分が何をしたいのかわからない。そういう人が集まれる場所が今までではなかったんです。西村さんはくつろぎステーションつばさの良さをそう話してくれます。それこそ、たこ焼きを食べながら、お茶を飲みながら、悩みを持っている人、悩みがわからない人、乗り越えられない人が集まって、たわいないおしゃべりで時間を過ごす。すると心の中が、のんびり、ほっこり、ふんわりしてきます。すこしづつ前向きな力が湧いてきます。今回の地震で、絶望を感じ生きる意欲を失ってしまった方も多くと思います。そんな方々が生きる力を取り戻すくつろぎステーションのような場所が増えればと、この取材を通じて感じました。



特定非営利活動法人  
プール・ボランティア

佐久間 靖子 / 平田 稔 / 牛島 礼那

〒540-0034  
大阪市中央区島町2-4-3-902  
TEL: 06-4797-8299  
E-mail: pv@pool-npo.or.jp

<http://www.pool-npo.or.jp>

## 年の差なんて気になりません。

この夏には活動回数が1000回を超える平田さんと去年6月から始めた佐久間さん、そしてこの日3回目の牛島さん。平田さんは76歳、佐久間さんと牛島さんは19歳。そんな歳の差は関係なく3人はプール・ボランティアの仲間です。会の活動はもちろん、忘年会などの集まりですっかり顔なじみの3人。障害をもつ子供たちに泳ぐ楽しみを知ってもらおうこの活動に3人とも心からやりがいを感じておられます。世代を越えたこんな関係がボランティアの世界でどんどん広がってゆけば、ボランティアの世界もさらに輝きを放つように感じました。年の差や性別に関係なく多くの方の参加を募っているのでみなさんもぜひ参加くださいな。



UTが、ニュース番組で紹介されました。ホームページでご覧いただけます。

読売新聞・朝日新聞・KBSラジオに引き続き、eo光ケーブルテレビのニュース番組でユナイテッド・テュモローの活動が特集されました。プールボランティアさんをはじめくつろぎステーションつばささん、プレジャーサポートさんなども出演されていますので是非ご覧ください。

<http://www.unitedtomorrow.com/>



技術は、  
愛を  
求む。



大肢協ボランティアグループ  
自助具の部屋

酒井 耕一

〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35  
アネックス パル法円坂 5F  
TEL:06-6940-4189  
E-mail: jijiyogu@daishikyo.or.jp

<http://www.daishikyo.or.jp/jijyogu/>

心やさしき森ノ宮のエジソンたち。

ものづくりと福祉の融合をめざして活動する酒井さんをはじめ、定年後、認知症の義母にプルトップを開ける道具を作ってあげたことがきっかけで活動に参加した向原さん、障害を持つ息子さんが亡くなり、その後、自助具作りに参加して30年の酒井佐和子さん。そのほかにも多くの方が障害者の生活の役に立つ道具を発明されています。スプーン・フォーク・ストローホルダー・爪切りetc. 少しの工夫で障害のある方でも使える道具に生まれ変わります。自分でできることは自分でやる。ものづくりの技術の中に、人に対する愛があります。自分でできる喜びを味わった障害者の方から感謝の手紙をいただくことも皆さんのやりがいにつながっているそうです。製作の依頼や、会への参加など気軽にお問い合わせください。

● 掲載および協賛のご案内

社会貢献活動をされている団体の掲載料は5,000円です。そのためUTの主旨に賛同いただける個人や企業の協賛を募っています。掲載申し込みならびに協賛申し込み、広告掲載については下記UT事務局までお問い合わせいただくかUTホームページよりお申し込みください。

<http://www.united-tomorrow.com/>

ご意見・ご感想・お問い合わせ・掲載のお申し込みは

UT事務局 編集長 尾関栄二  
E-mail: [eijiti@jttk.zaq.ne.jp](mailto:eijiti@jttk.zaq.ne.jp)  
hp:090-9162-1845

ユナイテッド・トゥモロー第3号 (2010年4月10日 発行)

発行/オゼキ・ワールドワイド  
〒669-1337 兵庫県三田市学園3-2 1-514  
TEL&FAX:079-565-8727  
企画・制作:尾関栄二(オゼキ・ワールドワイド)+朝山竜一  
印刷/(株)日東  
©掲載の写真・イラスト・記事等の無断転載、および複写を禁じます。

